

# Leica DISTO™ plus

THE ORIGINAL LASER DISTANCEMETER

2



**Leica**  
Geosystems

# 取扱説明書

バージョン2A

日本語



別冊の「安全の手引き」(738266)は、この取扱説明書の一部となっています。



この製品を使用する前に、「安全の手引き」と取扱説明書をよく読んでください。

## 目次

キーパッド .....	1
ディスプレイ .....	2
距離計の使い方 .....	3
機能レベル 1 .....	3
機能レベル 2 .....	11
使用上のご注意 .....	12
テクニカルデータ .....	14
メッセージコード .....	14

## DISTO™ plus ハンディ型レーザー距離計

この度は、DISTO™ plus をお買い上げいただき、誠にありがとうございました。

## 製品の識別

製品名が本体前面上部に印刷されています。製造番号はバッテリーケース上部のラベルに記載されています。製造番号 (SN) と購入年月日をこの取扱説明書に転記してください。販売代理店、またはサービスセンターに問い合わせる時には、常にこの2つの情報をお知らせください。

モデル型: DISTO™ plus .....  
製造番号: .....  
購入年月日: .....

## 保証

この距離計は、ご購入の日から24か月間、保証されています。保証書は同梱されていますので必ず「販売店名、購入日」などの記入をお確かめになり、大切に保管して下さい。保証内容の詳細に関しては、保証書に記載されています。ご相談ならびにご不明な点はお買い上げの販売店またはライカジオシステムズ株式会社(15ページ参照)までご連絡ください。

## 凡例

この取扱説明書で使われているシンボルの意味は、次のとおりです:



**警告:**

人が死亡または重症を負う可能性が想定される内容



**注意:**

人が傷害を負う可能性及び物的損害の発生が想定される内容



製品を技術的に正しく、かつ効率の良い方法でご使用いただくため、この説明書に記載された事項を厳守して下さるようお願いいたします。

## キーパッド

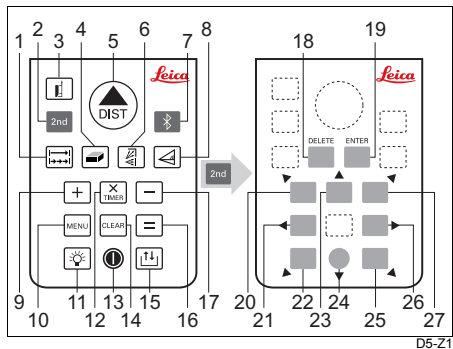
DISTO™ plus には、2つの機能レベルがあります。1番目のレベルには、オン/オフ、+/- などの操作機能が含まれています。2番目のレベルには、データ転送機能およびソフトウェアの制御機能があります。



押して機能レベルを切り替えます。

2nd

画面に表示されます。



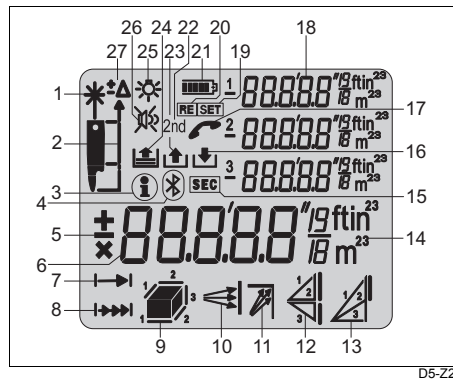
### 機能レベル1

- |                      |                   |
|----------------------|-------------------|
| 1 距離測定 / 連続測定        | 10 メニュー           |
| 2 機能レベル1 または 2       | 11 ディスプレイ照明       |
| 3 測定基準               | 12 掛け算 [x]、タイマー   |
| 4 面積 / 容積            | 13 電源オン / オフ      |
| 5 測定キー               | 14 クリアキー          |
| 6 最小寸法 / 最大寸法測定      | 15 メモリーキー (保存・呼出) |
| 7 Bluetooth® オン / オフ | 16 イコール (=) / 決定  |
| 8 ピタゴラス機能            | 17 マイナス [-]       |
| 9 プラス [+]            |                   |

### 機能レベル2

- |                |         |
|----------------|---------|
| 18 削除 (DELETE) | 23 上方向  |
| 19 決定 (Enter)  | 24 下方向  |
| 20 左上方向        | 25 右下方向 |
| 21 左方向         | 26 右方向  |
| 22 左下方向        | 27 右上方向 |

## ディスプレイ



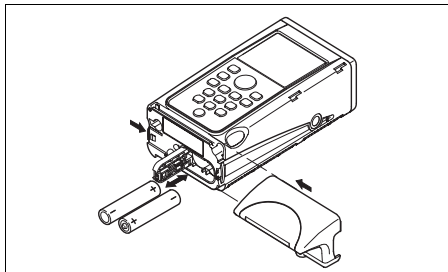
- 1 レーザー「オン」表示
- 2 測定基準 (後方・三脚ネジ・前方)



- 3 エラーメッセージの表示
- 4 Bluetooth® オン / オフ
- 5 数式計算処理のディスプレイ、該当する数式記号
- 6 メインディスプレイ (測定された距離など)
- 7 距離測定
- 8 連続測定
- 9 面積 / 容積
- 10 最小寸法測定
- 11 最大寸法測定
- 12 ピタゴラス機能
- 13 ピタゴラス機能 (部分高測定)
- 14 単位 [m] (小数点以下第3位まで表示可能)
- 15 タイマー機能の記号
- 16 測定値の保存 (最大10件まで)
- 17 カスタマーサービスへの連絡
- 183 つの補助表示 (例えば、前回の値など)
- 19 セット
- 20 リセット
- 21 バッテリー表示
- 22 機能レベル2
- 23 保存した測定値の呼び出し (最大10件まで)
- 24 自動記憶した最新の測定値の呼び出し
- 25 ディスプレイの照明 (オン / オフ)
- 26 操作音 (オン / オフ)
- 27 オフセットの設定

## 距離計の使い方


### 電池の入れ替え方

- 1 ロック用のピンを押し込んで、エンドキャップを右側に押し外します。




- 2 バッテリーカバーを開き、電池を入れ替えます。  
 電池の電圧が低すぎる場合に表示されます。新しい電池と入れ替えてください。  
使用する電池の種類については、テクニカルデータを参照してください。  
 電池は正しい向きに入れてください。電池は古いものと新しいものを一緒に使用しないで

ください。また、異なるメーカーの電池の組み合わせ、または異なる種類の電池を使用しないでください。



-  アルカリ乾電池のみご使用になれます。
- 3 エンドキャップをもとの位置にはめます。カチッと音がするまでエンドキャップを押し込んでください。

## 機能レベル1


### 電源の入れ方、切り方

-  キーを短く押すことにより電源のオン/オフが可能です。

他のキーを押すまで、ディスプレイの照明、バッテリー、および操作音の記号が表示されます。この距離計の電源は、どのメニューからでも切ることが可能です。

-  この距離計は、90 秒間キーを押さないと、自動的に電源が切れます。
-  Bluetooth を誤ってオフにしてしまわないように、特別な予防措置が行われています。11 ページを参照してください。

### クリアキー



-  クリアキーは、DISTO を通常モードにリセットします。すなわちゼロの値に設定が戻されます。(=クリア)

クリアキーは、測定 / 計算の前後に押します。また、メニューモードでは、器械を通常モードへリセットします。


計算機能 (面積、容積、またはピタゴラス機能) 使用中は、測定値を 1 件ずつ、段階的に消去でき、または再測定できます。

メニューモードでは、イコール (=) / 決定キーが押されていない場合にはプログラムは終了します。

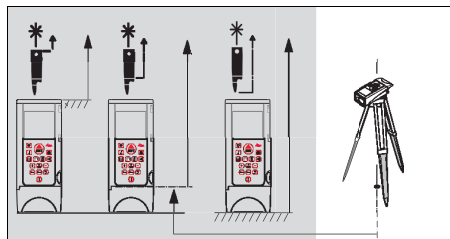
### ディスプレイの照明

-  キーを短く押すことにより照明のオン/オフが可能です。
-  30 秒間キーを押さないと、ディスプレイの照明がオフになります。

### 測定基準設定

-  設定したい測定基準位置が表示されるまで押します。

基準位置は下図の3ヶ所で設定可能



D5-Z4

前方 三脚用ネジ 後方

➡ 距離計の背面に、カメラ三脚に取り付け可能な 1/4 インチのネジ穴があります。

➡ 測定基準を変更したり、自動または手動で距離計の電源を切ったりするまで、設定は変わりません。

➡ 基本設定：後方にセットされます。市販のカメラ用三脚をご使用になれば、より正確な測定を行うことができます。(三脚使用の際は、本体裏側の 1/4 インチネジで固定します。)

## 測定

### 距離測定



押すとレーザーがオンになり、距離計は「照射モード」になります。



もう一度押すと、距離の測定を始めます。

設定された単位で、測定結果が表示されます。

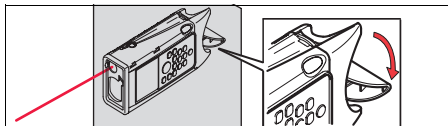


距離計の電源がオンで、レーザーがオフの場合は、「通常モード」です。



再度測定キーを押し、レーザーをオンにすると、「照射モード」に変わります。

### 平面からの測定

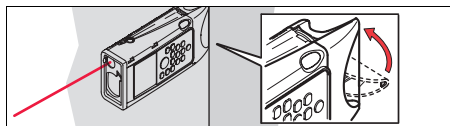


D5-Z5



後端のベースを 90 度に回し、後端を平面につけると安定した測定が行えます。この状態で器械を立てることも可能です。

### コーナーからの測定



D5-Z6

### 連続測定 (トラッキング)



が表示されるまで



を押します。

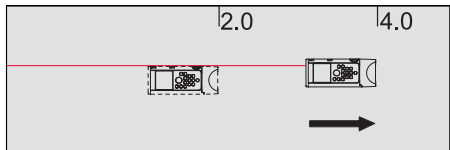


連続測定を開始し、結果を表示します。



再度押すことにより、「連続測定モード」を終了します。最後の測定結果が表示されます。

例：墨出し



D5-Z7

## レーザーの連続照射



長い「ピーッ」という音がするまで押します。すると、レーザーが連続照射になります。



測定キーを押すたびに、距離が測定されます。



クリアキーを押すことで、レーザー連続照射を終了します。

## タイマー機能

距離計を「照射モード」にします。



希望する遅延時間（最長60秒）に達するまで押し続けます。

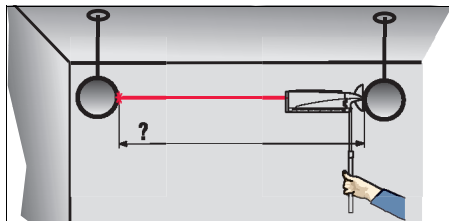
**SEC**

キーを離すとタイマーがスタートし、測定までの残り時間（例えば、59、58、57秒など）が表示されます。

最後の5秒間はブザー音が鳴りながらカウントダウンされます。

ブザー音の後に測定が完了し、測定値が表示されます。

例：高所の2点間の距離を測定する場合などに便利な機能です。



D5-Z8

## 計算機能

### 面積



が表示されるまで、



を押します。  
測定されるサイドが点滅します。

「長さ」と「幅」を測定します。  
面積、および長さとおよび幅の測定値が表示されます。

### 容積



が表示されるまで、



を押します。  
測定されるサイドが点滅します。

「長さ」、「幅」、および「高さ」を測定します。  
容積、および長さとおよび幅と、高さの測定値が表示されます。



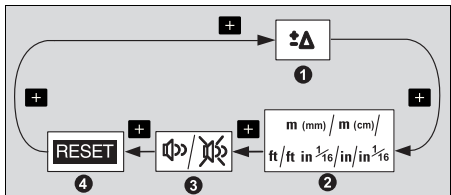
面積及び容積測定では、クリアキーを押すことにより、直前の測定値をキャンセルし、測定をやり直すことが可能です。

## メニュー選択による各種設定

メニューを使って、器械をオフにした後でも有効な設定を自由に選択することができます。それぞれの機能は、順番に切り替えることができます（ロールモード）。








押して機能を切り替えます。




D5-Z9

- 1 オフセット測定 (足す／引く)
- 2 SET (測定単位の選択)
- 3 操作音 (ON/OFF)
- 4 リセット

### メニューの呼び出し:

-  必要なメニューポイントが表示されるまで押します。または、いろいろなメニューポイントを [+/-] キーでも切り替えることができます。
-  が表示されます。  
 選択を確認し、メニューポイントを有効にします。
-  または、 [+/-] キーで、必要な設定に変えます。
-  選択を確認し、「通常モード」にリセットします。

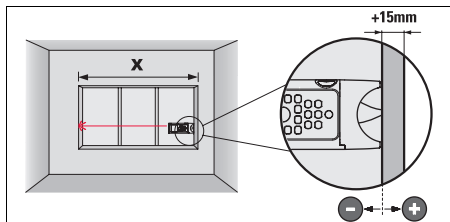
 選択をキャンセルする場合など、クリアキーも使用できます。

### 単位の選択

使用する単位 (例えば 0.000m) が表示されるまで押します。  
日本国内では計量法により、使用する単位はメートル法に限られています。


### オフセット測定 (メニュー)

設定されている測定基準位置に任意の寸法を加算、または減算することができます。




D5-Z10


メニューポイント呼び出します。


 表示が点滅します。


[+/-] キーを使って、必要なオフセット (=測定基準位置に加算または減算) を設定します (例え


ば、0.015メートルなど)。キーを押しつづけると、すばやく設定できます。

 より大きな値に設定したい場合は、プラスまたはマイナスキーと同時に押します。

 オフセット値はあらかじめ設定された基準位置 (前方・三脚ネジ・後方) に加算または減算されます。


 設定を確認します。

 オフセットが設定されている間は、継続して表示されます。

 設定したオフセットに従い、測定結果が表示されます。  
測定終了後は以下の操作により、オフセットを必ず 0.000 に設定してください。

 押します。

 解除を確認してください。

 オフセットの設定 / 解除の後には、テスト測定が必要です。

## 記憶した測定値及び各種設定のリセット(メニュー)

メニューポイントを呼び出します。

**RE SET** 表示が点滅します。

「+/-」キーを使って、リセットする設定項目を選択します。次の選択があります：



自動記憶された最新の測定値のみの削除



自動記憶された最新の測定値及びメモリーキーで保存された測定値の削除

ディスプレイに単位表示などその他の記号が表示されている場合は、次の値がリセットされます：

- オフセット (= 0)、操作音 (オン)、および単位 (メートル)



キーを押すと、選択された内容はリセットされ、通常モードに戻ります。

## メモリーキーによる任意の測定値保存(最大10件)

測定値、計算値を保存することができます。(例えば、部屋の高さ、面積、容積など)



押し続けます



表示が点滅します。

[+/-] キーを使って、必要に応じて測定値を補正します。(例えば 2.297m から 2.300m にするなど)



より大きな値にしたい場合は、(+/-) キーと同時に押します。



キーを使用すると単位の設定を行うことができます。



単位は、メートル、平方メートル、および立法メートルから選択します。



決定



保存した測定値とメモリー番号が点滅し始めます。

[+/-] キーを使って、メモリー No. の選択を行います。(測定値は10件まで保存できます。)



キーで保存する値を決定します。



新たな値は指定された保存場所に上書きされます。(既存の値は削除されます)

## メモリーキーにより保存された測定値の呼び出し



キーを短く押します。



最初の測定値保存 No. の内容が表示されます(例えば、2.300 メートルなど)。

[+/-] キーを使って、呼び出したい保存 No. の数値を選択します(1 から 10)。



キーを押し、有効化すれば、この値を利用できます(例えば、面積の計算など)。

## 自動記憶された最新の測定値の呼び出し



短く2回押すと、



最新の値が表示されます。

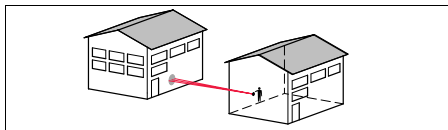
[+/-] キーを使って、必要な値を選択します(最高15件)。



キーを押し、有効化すれば、この値を利用できます(例えば、面積の計算など)。



## 最小寸法測定



D5-Z11

最小寸法を測定します。  
例えば、正確に垂直・水平がわからなくても、天井までの高さや建物の間隔などを計測することができます。



が表示されるまで押します。

レーザーがオン（照射モード）になりますので、ターゲット付近を照準します。



キーを短く押すと、連続測定が起動します。

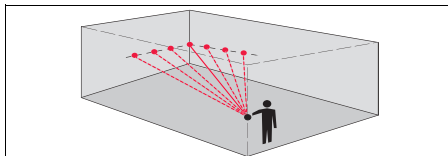
レーザーでターゲットの周囲を照射します。



キーを押すと連続測定が終了し、最小測定値が表示されます。

👉 両面（例えば、床面と天井、2つの壁面など）が、ほぼ平行である必要があります。

## 最大寸法測定



D5-Z12

最大寸法の測定を行います。  
例えば、部屋の対角の長さの測定などに使われます。



が表示されるまで押します。

レーザーがオン（照射モード）になりますので、部屋のコーナー付近を照準します。



キーを短く押すと、連続測定が起動します。DISTO™ plus をゆっくりと右または左コーナーへ回していきます。



キーを押すと連続測定が終了し、最大測定値が表示されます。

最大測定値が表示されます。

## 計算機能

### 加算・減算

1つ目の寸法を測定します。  
[+]キーを押せば足し算、[-]キーを押せば引き算になります。

もう1つの寸法を測定します。



= 答え

👉 同様にして**測定値の累計**や面積/容積の合計を求めることもできます。

👉 関数機能を使用していない限り、計算中に、いつでもクリアキーが使用できます。

### 乗算

1つ目の寸法を測定します（例えば、8.375メートル）。

[x]キーを押します。

もう1つの寸法を測定します（例えば、8.375メートル）。



= 面積（例えば、70.141平方メートル）。

👉 面積を計算した後で、高さの測定値を掛ければ、容積を計算できます。

この計算機能を使用して、個々の部分高さ / 部分距離から面積や容積を計算できます。

## 測定値を2倍する

例えば、部屋の壁の長さを測定する場合などに、測定値を簡単に2倍できます：

1つ目の寸法を測定します。

[+]キーを押して、足し算にします。

もう1つの寸法を測定します。

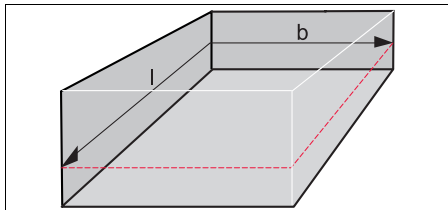


= 合計 (部屋の内回りの長さの半分)

[+]キーをもう一度押すと、この測定値が2倍になります。



= 合計 (部屋の内回りの長さ)



D05-Z13

## ピタゴラス機能による高さの幅の測定

👉 必ずこの順番で測定してください！

👉 測定する3点(2点)は、すべて、壁面の一直線上(鉛直線上/水平線上)になければなりません。

👉 それぞれの距離測定には、次の値を使用できます：

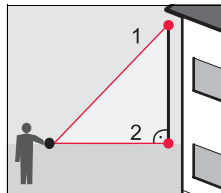
- 距離測定値
- 自動記憶、メモリーキーに保存されている数値
- タイマー機能使用の測定値

👉 ピタゴラス機能を利用する際の測定の際は三脚及び三脚用アダプターの使用をお勧めします。

👉 最良の測定結果を出すには、DISTO™ plusを固定した点(距離計後端、ネジ穴位置など)を中心として回転させ、レーザー光軸の延長線が、この軸を通過するようにします。DISTO™ plusを直接カメラ用三脚に取付けた場合、レーザー光軸は支点から70～100ミリメートル上にあるため、測定結果に誤差が発生します。

👉 レーザー光軸を支点にあわせるため、三脚用アダプター(別売りアクセサリ/品番732193)の使用をお勧めします。

## 2点の測定からの計算



建物の高さ / 幅を概算する場合。かがむことなく、立った位置から2つ、または3つの距離を測定して、その数値から高さを求めることができます。



が表示されるまで



を押します。レーザーが照射され、「1---」が点滅を始めます。



上部のポイント(1)に向けます。



測定を開始します。測定時は本体を動かさないでください。正確な測定ができません。

値が確定されます。



が表示され、「2---」が点滅を始めます。

DISTO™ plus を、おおよそ水平に照準します。

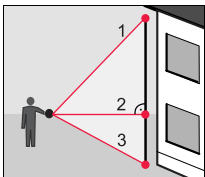


キーを押すと連続測定（最小寸法測定）が起動します。ターゲット付近を動かしながら照射します。



連続測定を終了します。測定値にピタゴラスの定理を当てはめ、高さまたは幅を算出して表示します。

### 3点の測定からの計算



が表示されるまで押します。



レーザーが照射され、「1 ---」が点滅を始めます。



上部のポイント(1)に向けます。



測定を開始します。測定時は本体を動かさないでください。正確な測定ができません。

値が確定されます。



が表示され、「2 ---」が点滅を始めます。



DISTO™ plus を、おおよそ水平に照準します。キーを押すと連続測定（最小寸法測定）が起動します。ターゲット付近を動かしながら照射します。



連続測定を終了します。



値を決定し、「3 ---」が点滅を始めます。下部のポイント(3)に向けます。

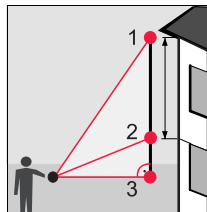


測定を開始します。測定時は本体を動かさないでください。正確な測定ができません。



連続測定を終了します。3つの測定値にピタゴラスの定理を当てはめ、高さや幅を算出して表示します。

### 3点の測定から部分高さの計算



3点の測定から、ポイント1とポイント2の間の高さを計算します



が表示されるまで押します。レーザーが照射され、「1 ---」が点滅を始めます。



上部のポイント(1)に向けます。



測定を開始します。測定時は本体を動かさないでください。正確な測定ができません。

値が確定され、「2 ---」が点滅を始めます。



測定を開始します。測定時は本体を動かさないでください。正確な測定ができません。

値が確定されます。



が表示され、「3 ---」が点滅を始めます。




キーを押すと連続測定（最小寸法測定）が起動します。ターゲット付近を動かしながら照射します。



連続測定を終了します。ピタゴラスの定理を当てはめ、ポイント 1 とポイント 2 の間の、高または幅を算出して表示します。

## 機能レベル 2

 DISTO™ plus による測定値の転送または補正は、レベル 2 でのみ行えます。機能レベル 2 で使用できる機能のタイプと番号は、使用するソフトウェアによって異なります。

### Cmvfuppui™ !をオンにする



短く押します。



Bluetooth® がオンになると、このアイコンが画面に表示されます。

Pocket PC または PC 上のアプリケーションソフトウェアによって、データ接続を確立する必要が

あります。接続が確立されている間は、このアイコンが点滅します。



Bluetooth® をオンにしてから 120 秒以内には Pocket PC または PC との接続が確立されない場合は、Bluetooth® は自動的にオフになります。接続が確立されてから 5 分間データ転送が行われない場合は、Bluetooth® は自動的にオフになります。さらに 90 秒後、DISTO™ plus/DISTO™ plus がオフになります。

### Cmvfuppui™ !をオフにする



Bluetooth® をオフにする前に、必ず機能レベル 1 に切り替えます。短く押します。

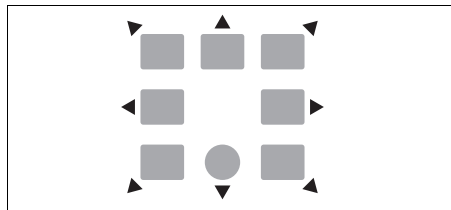


Bluetooth® がオフになると、このアイコンは表示されなくなります。



機能レベル 2 になっている場合には、Bluetooth® をオフにすることはできません。これは、Bluetooth® 接続を誤って中断してしまうのを防ぐためです。DISTO™ plus をオフにする前に、Bluetooth® 機能をオフにする必要があります。

## 矢印キー

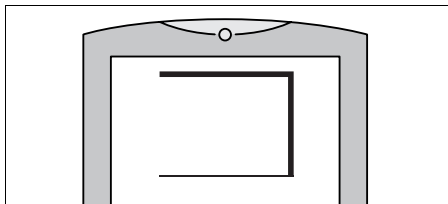


D5-Z14

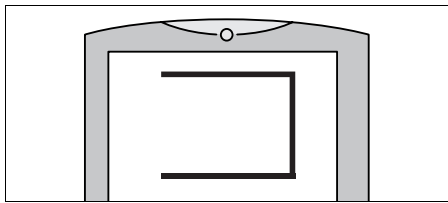
DISTO™ plus キーパッドの下にある 8 個の矢印キーは、空間図を生成するとき方向（直交方向および対角線方向）を入力するのに使用します。通常の方法で測定を開始（機能レベル 2 がアクティブになっている場合でも、これらのキーは機能します）すると、値が画面に表示されます。空間図に必要な方向に対応する矢印キーを選択します。この矢印キーを押すと、データレシーバー（Pocket PC または PC）へ方向に応じ測定値が転送されます。使用しているソフトウェアによっては、矢印キーでカーソルをコントロールすることもできます（Excel など）。

## 測定値の転送

◀ [矢印キー] を短く押します。測定のための細い線が表示されます。



## 転送された測定値の確認 (または削除)




**ENTER** [ENTER] 表示された線が正しいことを確認して、キーを軽く押します。線が太く表示され、測定値が表示されます。

**DELETE** [DELETE] 誤った線をクリアするには、キーを軽く押します。

測定値が **DISTO™ plus** にまだ表示されている場合には、正しい矢印キーを再度押して転送することができます。他の機能については、使用するソフトウェアのマニュアルを参照してください。

## データの転送

Pocket PC または PC からのデータ転送が正しく行われたことが確認されるまで、新しい測定は開始できません。

 データ転送が行われなかった場合、2 秒後に「240」が点滅します。

**DELETE** [DELETE] 表示を確認してキーを軽く押します。測定とデータの転送を繰り返します。

### ソフトウェアについて

**DISTO™ plus** の基本的なアプリケーションのデモンストレーションを行い、簡単な作業 (測定による空間描画、Exce の表へのデータ転送など) を行えるように設計された 2 つの無償ソフトウェアプログラム「plus-draw」および「plus-XL」が含まれています。

**Leica Geosystems** は、無償ソフトウェアやその機能についての保証は行わず、サポートも行いません。**Leica Geosystems** は、無償ソフトウェアの使用によって発生する損害に対する責任を負うものではなく、これらの修正や追加機能の開発 (アップデート、アップグレードなど) を行う義務を負うものではありません。必要な機能を持つ商用プログラムが多数あります。詳細については、弊社ホームページ [www.disto.com](http://www.disto.com) をご覧ください。

## 使用上のご注意

### 測定範囲

昼光 (屋外) のもとでは、必ず内蔵されているファインダーを使用します (13 ページを参照)。必要に応じて、ターゲットを日陰にしてください。必要に応じて、ターゲットプレートを使用してください。

### 測定範囲の拡張:

夜間、夕暮れ時、ターゲットの領域が日陰になっている場合、測定範囲は拡張されます。

## 測定範囲の縮小 / 測定時間の延長

つやのない暗い色の面（植物や樹木も）に対しては、測定範囲が小さくなるとともに測定時間が長くなることがあります。

## 測定面が粗い場合


粗い表面（例えば、きめの粗い石膏など）では、レーザースポットの中心部分までの距離が表示されます。

石膏ボード等の継ぎ目を測定する場合：

ターゲットプレートまたは付箋などを使用して測定してください。

## 測定面が透明な場合

測定の誤りを防ぐために、無色の液体（たとえば水など）や（ほこりのついていない）ガラス、スチロポール、または同様の半透明の面に向けて測定しないでください。特殊な素材や液体については必ずテスト測定を行ってください。

 窓ガラス越しに照射する場合、または照射線上にいくつかの障害物がある場合には、正しい測定値が得られない場合があります。

## 測定面が濡れている場合・平滑または光沢のある場合

- 1 平坦に近い角度で照射すると、レーザー光線が偏向します。DISTO™ plus が受け取る信号が弱すぎる場合があります。（エラーメッセージ 255）
- 2 直角に照射した場合、DISTO™ plus が受け取る信号が強すぎる場合があります。（エラーメッセージ 256）

## 測定面に傾きのある場合・丸い面の場合

レーザーを使用して測定できます。

要件：レーザースポットを照射するのに十分な表面領域があること。

## ターゲットプレートの使用

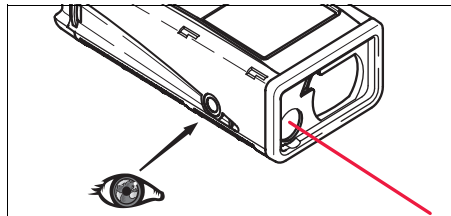
信号が弱すぎる場合、目標の表面が粗い場合、表面の反射が弱い場合日光の照射があるときに 30メートルを超える距離から測定を行う場合には、別売りアクセサリーのターゲットプレート（ハガキサイズ / 品番 563875 または A4 サイズ / 品番 723385）を使用してください。

- 白色の面：約 30m まで
- 茶色の面：約 30 ~ 200m まで


## 屋外では、

DISTO™ plus には内蔵式の望遠ファインダーがついています。（倍率：2 倍）日中屋外での測定の際、レーザースポットの視認性が向上します。

25 メートル以上の距離からの測定では、レーザースポットが、照準の真中にきます。25 メートル以下の距離では、レーザースポットは、照準の端にきます。



D5 Z\_telescope

 長距離測定には、望遠鏡式ファインダー（別売りアクセサリー / 品番 731719）の使用をお勧めします。

## テクニカルデータ

測定精度 (標準偏差の2倍)	標準: ±1.5mm / 最大: ±3mm <sup>*1</sup>
測定単位 / 最小表示値	1mm <sup>*2</sup>
測定範囲 (約 30m から、ターゲットプレートを使用)	0.2m ~ 200 m <sup>*3</sup>
測定時間 距離測定 / 連続測定	0.5 秒から約 4 秒 / 0.16 秒から約 1 秒 <sup>*4</sup>
レーザー-dot径 (一定の距離において)	6 / 30 / 60 ミリメートル (10 / 50 / 100 メートル)
内蔵望遠ファインダー	○
ディスプレイの照明	○
マルチラインディスプレイ	○
回転式エンドキャップ	○
タイマー機能	○
計算機能	○
Bluetooth®	○
連続測定	○
測定値保存	10 件分
最小 / 最大寸法測定	○
ピタゴラス機能	○
測定値自動記録	最新のものから 15 件分
電源: 単 3 形アルカリ乾電池 2 本	10,000 回の測定 <sup>*5</sup>
防滴、防塵	IP54acc ; IEC529 準拠
寸法と重量	172 x 73 x 45 mm, 335g
内蔵水準器	1°
温度範囲	
保存温度	-25°C から +70°C
使用温度	-10°C から +50°C

- \*1 長距離 ± (3mm+5 ppm)
- \*2 100m 以上の場合表示単位は 1 cm になります。
- \*3 30m 以上の場合は、ターゲットプレートの使用をおすすめします。
- \*4 測定時間はレーザー光の反射の状態によって異なります。
- \*5 使用条件、使用方法により測定回数は異なります。

## メッセージコード

### エラーメッセージ



が、メッセージ番号とともに表示されます。

メッセージコード	原因	処置
203	ピタゴラスの機能の使用において、測定の順番に誤りがあります。	正しい順番で、測定してください。
204	計算エラー	計算をやり直してください。
240	転送エラー	手順を繰り返してください。
252	50°C 以上の高温になっています (使用温度)。	距離計の温度を下げてください。
253	-10°C 以下の低温になっています (使用温度)。	距離計の温度を上げてください。
255	受信シグナルが弱すぎ、測定時間が長すぎます。距離 < 200 mm	ターゲットプレートを使う。200mm 未満は測定できません。
256	受信シグナルが強すぎます。	ターゲットプレート (正しい面) を使用してください。
257	誤測定。周囲が明るすぎます。	ターゲットプレートを使用してください。

メッセージコード	原因	処置
260	レーザービームが中断しました。	もう一度、測定してください。
	その他のメッセージ	サービス窓口に連絡してください。



販売店もしくはライカジオシステムズ株式会社ご連絡して、このメッセージが表示されたことをお伝えください。起動するたびにこのメッセージが表示されることが何回か続いた後、器械が動作しなくなります。

### 手入れ

レンズの表面は、眼鏡、カメラ、双眼鏡などと同様な手入れをしてください。最新の情報は、ホームページでご覧いただけます。

[www.disto.com](http://www.disto.com)

専用ソフトウェアメーカーの住所をご案内しています。ただし、弊社はこれらのメーカーが提供するソフトウェアの仕様や性能の正確性について、責任を負うものではありません。ソフトウェアの開発者向けに、DISTO™ plus オンラインインターフェイスについての説明をご用意しております。

すべての図、説明および技術仕様は、事前の告知なく変更されることがあります。

製造：

Leica Geosystems AG  
CH-9435 Heerbrugg, Switzerland

輸入・発売元：

ライカジオシステムズ株式会社  
〒113-6591 東京都文京区本駒込 2-28-8  
文京グリーンコート 21F

アフターサービスのお問合せ先：

ライカジオシステムズ株式会社 テクニカルセンター  
〒113-6591 東京都文京区本駒込 2-28-8  
文京グリーンコート B1F  
TEL 03(5940)3035





Leica Geosystems AG, Heerbrugg, Switzerland has been certified as being equipped with a quality system which meets the International Standards of Quality Management and Quality Systems (ISO standard 9001) and Environmental Management Systems (ISO standard 14001).



Total Quality Management - Our commitment to total customer satisfaction

Ask your local Leica Geosystems agent for more information about our TQM program.

Pat. No.

<ul style="list-style-type: none"><li>• US 5,815,251</li><li>• US 5,949,531</li><li>• US 6,336,277</li><li>• US 6,463,393</li></ul>
<ul style="list-style-type: none"><li>• EP 0738 899</li><li>• EP 0932 835</li></ul>

Printed in Switzerland - Copyright Leica Geosystems AG,  
Heerbrugg, Switzerland 2003  
738266-1.0.0

*Leica*  
**Geosystems**

Leica Geosystems AG  
CH-9435 Heerbrugg  
(Switzerland)

[www.leica-geosystems.com](http://www.leica-geosystems.com)